

# 米沢有為会#文化大学

再開第1回(通算第30回)

オンライン講演会

令和4年7月24日(日)午後3時

## よみがえる米沢海軍

その人脈と消長

講師: 工藤 美知尋 さん

ホームページから講演資料をプリントアウトしてお手元にご準備ください

講師 工藤 美知尋 (くどう・みちひろ) さん



長井市出身。1966年長井高校卒。日本大学法卒、東海大学より政治学博士(学位論文『日本海軍・太平洋戦争開戦原因論』)。日本ウエルネススポーツ大学スポーツプロモーション学部教授(「文章表現」「政治学」)。日本海軍戦史戦略研究所所長。米沢有為会東京支部理事。東京鷹桜同窓会会長

主要著書: 『日本海軍と太平洋戦争(上下)』『日ソ中立条約の研究』(以上南窓社)、『近代日本と戦争(全6巻)』(PHP)、『研究計画書の理論と実践』(晶文社)、『山本五十六の真実』『海軍大将井上成美』(以上潮書房光人社)、『海軍良識派の支柱山梨勝之進 忘れられた提督の生涯』、『苦悩する昭和天皇』『終戦の軍師高木惣吉少将伝』(以上芙蓉書房出版)、他多数。

1

米沢有為会#文化大学 再開第1回(通算第30回)

令和4年7月24日(日)午後3時 オンライン講演会

## よみがえる米沢海軍

その人脈と消長

工藤 美知尋

米沢有為会東京支部理事

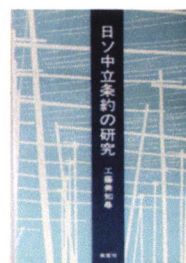
日本海軍戦史戦略研究所所長

2

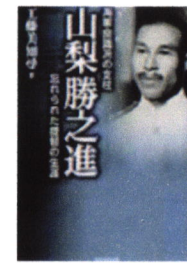
### 【はじめに】

\*自己紹介を兼ねて、  
これまでの研究の歩み

1982年刊



1985年刊



2013年刊



2015年刊



2018年刊

\*なぜ米沢海軍の研究を始めたか？



3

\*「米沢海軍」という呼称はいつ頃からいわれるようになったのか？

\*「米沢海軍」に関する先行研究  
松野良寅著

『遠い潮騒 米沢海軍の系譜と追憶』  
1980 米沢海軍武官会事務局 374p

\*「米沢海軍」の対象者  
— 視野の広がり



4

近著の内容構成

第1章 黎明期

— 宮島誠一郎の『戊辰日記』の面白さ

第2章 大正期の「米沢海軍」

- ① ワシントン海軍軍縮条約の意義
- ② 侍従武官・四籠孝輔の『侍従武官日記』の面白さ
- ③ 「米沢海軍」栄光の一日

第3章 ロンドン海軍軍縮条約会議と「米沢海軍」

- ① 米沢海軍に亀裂 — 「条約派」と「艦隊派」の対立
- ② 「大角人事」で、「条約派の将官」は予備役編入

第4章 日独伊三国同盟に反対する  
「奥羽海軍」良識派トリオ

- ① 二・二六事件と山下知彦大佐の失脚
- ② 山本五十六の「真珠湾奇襲作戦」

第5章 「米沢海軍」の悲劇

— 南雲忠一の太平洋戦争

令和4年  
7月22日  
発売

芙蓉書房出版  
288p 2,640円  
(消費税込み)



6

海のない置賜盆地から、  
なぜ「米沢海軍」が生まれたのか

- ✓ 旧藩士子弟の育英を重視した上杉茂憲
- ✓ 勝海舟と宮島誠一郎
- ✓ 先達・宮島誠一郎の果たした役割

23歳の上杉茂憲  
慶応2(1866)年、父の名代で  
京都を訪れた際に撮影された



5

【本論】

海のない置賜盆地から、  
なぜ「米沢海軍」が生まれたのか

- ✓ 明治新政府による国軍の新設
- ✓ 士官養成の急務と応募人気
- ✓ 幕末維新期の米沢藩士の状況





7

河合継之助  
(1827-1868)



勝海舟  
(1823-1899)



宮島誠一郎  
(1838-1911)



雲井龍雄  
(1844-1871)



晩年の海舟

8

### ✓米沢藩士を海軍に橋渡した宮島誠一郎



宮島邸にて (向かって左から)  
湯野川忠世 上泉徳弥 宮島誠一郎 小森沢長政 山下源太郎

9

### 「米沢海軍」 の群像

その1



小森沢長政  
(1843-1917)  
米沢海軍の祖



山下源太郎  
(1863-1931)



上泉徳弥  
(1865-1946)



黒井悌次郎  
(1866-1937)



千坂智次郎  
(1868-1936)



左近司政三  
(1879-1969)

10

### 「米沢海軍」 の群像

その2



今村信次郎  
(1880-1969)



片桐英吉  
(1885-1972)



南雲忠一  
(1887-1944)



近藤英次郎  
(1887-1955)



小林 仁  
(1890-1977)



工藤俊作  
(1901-1979)



## 「米沢海軍」 の盟友たち

米内光政  
(1880-1948)  
盛岡出身



四龍孝輔  
(1876-1937)  
仙台出身



堀 悌吉  
(1883-1959)  
大分出身



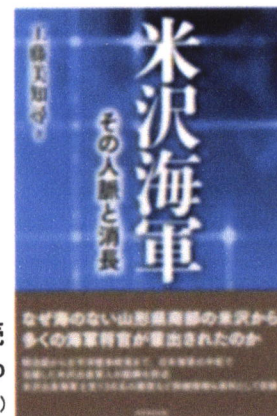
山本五十六  
(1884-1943)  
長岡出身



井上成美  
(1889-1975)  
仙台出身

## まとめ

- ✓ 「米沢海軍」形成には、  
宮島誠一郎と勝海舟の太いパイプがあった
- ✓ 幕末維新の米沢藩士には、  
藩校「興譲館」で醸成された  
深い教養があった
- ✓ 海軍士官になった米沢出身者  
たちは、「一山三文」と蔑視  
された眼を見返すべく  
刻苦奮励した



令和4年7月発売  
芙蓉書房出版 288p  
2,640円(消費税込み)